

# 看護大通信

57



新潟県立看護大学  
看護技術学教授

堀 良子

わが国において正規の看護教育が始まったのは、明治18年有志共立東京病院看護婦教育所（慈恵医大看護学科の前身）からであった。大関 和は、翌年設立され

## 上越に縁のある「看護界の先駆者大関和」

護婦は医師のお手伝い的存在が一般的であった時代に

る高田女学校に生徒取締り兼伝道師として、明治23年11月に赴任した。高田において彼女は、キリスト教婦人矯風会の幹事として、廢娼運動の先頭に立つなど第一線の社会運動家でもあった。また、第一医院時代の同僚であ

る高田女学校に生徒取締り兼伝道師として、明治23年11月に赴任した。高田において彼女は、キリスト教婦人矯風会の幹事として、廢娼運動の先頭に立つなど第一線の社会運動家でもあった。また、第一医院時代の同僚であ

大関が著した看護技術の書である『実地看護法』の復刻版を読むと、その序に「病者の看護を司る者は、肉体の苦痛をのがれしむると同時に、靈の救済をも努めねばなりません。人は心によりて生き靈は肉によりて生きながらうものであります。されば看護婦の職分たるやその責任は実に重大であります」とあり、看護婦は医師のお手伝い的存在が一般的であった時代に

して位置づけられていた。大関はまた、看護婦という職業を社会的に認知させようと、看護婦規則の制定を求める運動や職能団体の結成にも貢献した。



晩年の大関和

専門性を追求し実践しようとしていたことが伺われる。

して、英国人アグネス・ヴェッチからナイチンゲール方式の看護教育を受けた日本最初の看護婦の一人である。大関は卒業

つた瀨尾医学士と道ではつたり出会うという機縁があり、彼の帰郷開業した知命堂病院を婦長として助けることになった。

つた瀨尾医学士と道ではつたり出会うという機縁があり、彼の帰郷開業した知命堂病院を婦長として助けることになった。

つた瀨尾医学士と道ではつたり出会うという機縁があり、彼の帰郷開業した知命堂病院を婦長として助けることになった。

後医科大学第一医院（東大病院の前身）の外科婦長として2年勤めた後、桜井女学校の姉妹校であ

の望みで付設された産婆看護婦養成所の実地指導にもあたった。明治29年

の望みで付設された産婆看護婦養成所の実地指導にもあたった。明治29年